

東 義孝
YOSHITAKA AZUMA

榎本耕一
KOICHI ENOMOTO

具 夏枝
OHHAJI
IMAGINATION

越中正人
MASAHITO KOSHINAKA

塚田 守
MAMORU TSUKADA
SYMBOL

牧山 花
HANA MAKIYAMA

増山麗奈
RENA MASUYAMA
METAPHOR

松原壮志明
SOSHIRO MATSUBARA
OBJECT

ZONE [ゾーン]
POETIC MOMENT

2005年9月30日 金 ⇒ 10月30日 日 [月曜休館] トーキョーワンダーサイト

30 September ⇒ 30 October 2005 (Closed on Monday) @ TOKYO WONDER SITE

開館時間◎ 11:00⇒19:00(入場は閉館30分前まで) / 休館日◎月曜日、祝日の場合は翌日 / 入場料◎一般:600円 | 中高生・65歳以上:300円 | 小学生以下無料

OPEN HOURS 11:00⇒19:00 (ADMISSION UNTIL 30 MINUTES BEFORE CLOSING TIME.)

CLOSED MONDAYS (TUESDAY IF THE MONDAY IS A PUBLIC HOLIDAY)

ADMISSION ADULTS:¥600 / STUDENTS (JUNIOR HIGH SCHOOL, HIGH SCHOOL), SENIOR CITIZENS (OVER 65 YEARS OLD): ¥300 / CHILDREN (UNDER ELEMENTARY SCHOOL STUDENTS): FREE

2001年9月11日の大惨事以後に本格的に活動を開始した若い世代のアーティストに焦点を当てた、市原研太郎キュレーションによる「アフター・ザ・リアリティ」(2004, HIROMI YOSHII)は、日本の若い世代のアーティストのひとつの新しい潮流を浮かび上がらせる展覧会でした。トーキョーワンダーサイトでは、今回、その「アフター・ザ・リアリティ」に続く、市原研太郎キュレーションによる展覧会「ゾーン-ポエティック・モーメント」を開催します。今回は8人のアーティストが選ばれ、それらの作品が「物質×象徴×隠喩×想像」の4つの「ゾーン」に配置され、トーキョーワンダーサイト御茶ノ水のスペースを生かしながら、それぞれのテーマと作品が響きあい、「ZONE(ゾーン)」とあわせて、もうひとつのキーワードである「ポエティック・モーメント」を表出させようとする展覧会となっています。「ZONE(ゾーン)」は、単に領域という意味と同時に、それ以上の「名状しがたい何か」が示唆されています。同時に「ポエティック」という言葉も、単に詩的という意味を超えて、その語源である「ポイエーシス」の意味、行為も示唆されて、テーマが提出されています。トーキョーワンダーサイトでは、これまでトーキョーワンダーウォール公募をはじめとする作家たちの展覧会を中心に日本における若手アーティストの紹介を行ってきました。2005年トーキョーワンダーサイト渋谷開館を機に、今後、より幅広く日本のコンテンポラリー・アート・シーンにおける若手アーティストを紹介してゆくこととなりました。今回はその第1弾となります。

THE ICHIHARA KENTARO-CURATED "AFTER THE REALITY" (2004, HIROMI YOSHII), WHICH FOCUSED ON YOUNG JAPANESE CREATORS WHO COMMENCED THEIR ARTISTIC WORK AFTER THE 9/11 DISASTER, WAS AN EXHIBITION THAT INTRODUCED A NEW CURRENT IN YOUNG JAPANESE ART. AS A SEQUEL TO "AFTER THE REALITY", THIS TIME ICHIHARA CURATED THE "ZONE - POETIC MOMENT" SHOW, AGAIN HELD AT TOKYO WONDER SITE. EIGHT ARTISTS WERE SELECTED TO EXHIBIT THEIR WORKS IN FOUR "ZONES" THEMED "MATERIAL", "SYMBOL", "METAPHOR" AND "IMAGINATION". REVERBERATING WITHIN THE CLEVERLY QUARTERED EXHIBITION SPACE OF WONDER SITE OCHANOMIZU, THE DISPLAYED ARTWORKS ARE ARRANGED TO FORM NEXT TO "ZONES" SOME SORT OF "POETIC MOMENT" - THE SECOND KEYWORD FOR THIS EXHIBITION. "ZONE" HERE IS TO BE UNDERSTOOD IN THE TERM'S BASIC, CONCRETE MEANING ("AREA", "TERRITORY", ETC.), AND AT THE SAME TIME AS SOMETHING "INDEFINITE". EQUALLY, "POETIC" REFERS NOT ONLY TO A QUALITY OF POETRY, BUT HAS TO BE CONSIDERED IN THE SENSE OF THE WORD'S GREEK ORIGIN: POIESIS, WHICH IMPLIES THE ACT OF CREATING. TOKYO WONDER SITE HAS SO FAR HOSTED THE TOKYO WONDER WALL EXHIBITION OF ARTWORKS CHOSEN FROM ENTRIES FROM THE GENERAL PUBLIC, AND OTHER EXHIBITIONS AIMED AT SHOWCASING THE WORKS OF JAPANESE NEWCOMER ARTISTS. THE OPENING OF TOKYO WONDER SITE SHIBUYA IN 2005 MARKS AN OCCASION TO WIDEN THE SCOPE WITHIN WHICH TOKYO WONDER SITE IS GOING TO FOCUS ON THE JAPANESE CONTEMPORARY ART SCENE IN THE FUTURE. THIS EXHIBITION WILL BE THE FIRST STEP.

本展は、作品を構成する4つの水準、(物質)、(象徴)、(隠喩)、(想像)を、「ゾーン」として提示する。これら4つの「ゾーン」は、それぞれの水準で力点をずらしながら「ゾーン」の全体を反復する。したがって、展覧会は入れ子状の構造を形成し、個々の「ゾーン」は作品のモデルとなる。逆に、「ゾーン」全体は各「ゾーン」を反映するので、展覧会が作品の(隠喩)となる。ここに、展覧会の均衡を破る不安定要因が「ゾーン」に生じる。(隠喩)は、不確定の領域を手探りで開拓することで、作品を切り裂き未知の世界を導入する。この(隠喩)の作用に具体的内容を付与するのが、(想像)である。そのため(想像)は、その力を運搬する乗り物である(象徴)を必要とする。(象徴)は、世界への有効な働きかけを媒介するからだ。最後に、(想像)の飛翔は、その限界ですべての「ゾーン」の基礎となる(物質)に遭遇する。そして、この出会いのなかから再び(隠喩)が芽生えてくる。このように、各「ゾーン」と全体は相互に参照する関係にあるだけでなく、各「ゾーン」は創造に不可欠の力を循環させて全体を改変していく。「ゾーン」のスタティックな入れ子状構造と、それを横断するダイナミックな循環とによって拡大するスパイラルが、本展の「ポエティック・モーメント」をなす。この運動が、展覧会全体を作品そのものへと変貌させるのである。

市原研太郎

IMAGINA SYMBOL METAPHOR OBJECT

[ゾーン] ポエティックモーメント POETIC MOMENT ZONE



東郷孝 | Yoshitaka Azuma
1976 大阪府生まれ
2002 京都造形芸術大学 美術工芸学科洋画コース卒業
「白昼夢」展(立休ギャラリー-射手座、京都)
ground show neo neol(ギャラリー-エス、東京)
2004 Art Court Frontier 2004#2(アートコートギャラリー、大阪)
2005 「嘘および秘密アリ地獄」(ヴォイスギャラリー、京都)
「想像考」(坂本操子・小野美穂・西澤陽子・東郷孝)(ヴォイスギャラリー、京都)
KYOTO ART MAP 合同展「裏・アートマップ」(京都芸術センター、京都)
「泥沼から躍り出る星たち2005」(ギャラリーオープン、京都/スパイラル、東京)

榎本耕一 | Koichi Enomoto
1977 大阪生まれ。金沢美術大学工芸科鍍金コース卒。修士中退。大阪在住。平面作品を中心に制作。
2004 「モジャモ」(Voice gallery, 京都)
「Blue in gas light」(HIROMI YOSHII, 東京)
「After the Reality」(HIROMI YOSHII, 東京)
「The Secret Forest of Princess Kight」(M.Y.Art prospects, N.Y.)
2005 「Girls of Summer」(Monique Maloche Gallery, Chicago)

牧山花 | Hana Makiyama
1971 東京生まれ
1994 東京造形大学 絵画科卒業
1994-1996 京都 川島テキスタイルスクールにおいて箔打ちを染織の技術を獲得(全日本新人染織展にて連続入賞)
1996-1998 沖縄の宮古島にて重要無形文化財である宮古上布を研究及び制作

1998-1999 ヨーロッパからアジアを一年間旅し作品の礎となる絵を百枚以上描きたる
1999 帰国後 制作活動を開始
2002 東京 青山のスパイラルガーデンにて初個展

増山麗奈 | Rena Masuyama
1978 千葉県生まれ。東京芸術大学中退後、在学中から行っていた絵画、パフォーマンスの道へ
1999 貴族演出天門10周年記念パフォーマンス公演香港、マカオにてグループ展多数
2003 イラク開戦前夜、アーティストによる反戦パフォーマンスグループ「桃色ゲリラ」を結成。以後代表を務める。
2004 戦火のパクダッドを訪れ、イラク人アーティストによる現代アート「LAN TO IRAQ」を企画。日本、韓国、沖縄、広島などで展覧会を開催する。
2004 ベルリン森崎記念館にて個展
2004 府中ビエンナーレにて招待参加。雑誌、新聞などで美術評論も発表する

松原社志朗 | Soshiro Matsubara
1980 北海道 函館市生まれ
2004 AFTER THE REALITY/HIROMI YOSHII GROUP SHOW
2005 多摩美術大学油絵科、卒業
2005 SOSHIRO MATSUBARA EXHIBITION/HIROMI YOSHII

越中正文 | Masahito Koshinaka
1979 大阪府生まれ
2001 ビジュアルアート専門学校卒業

2000 [Mio写真奨励賞2000] 優秀賞受賞及び、[Mio写真奨励賞2000] 入賞者作品展(天王寺ミオ12 階・ミオホール、大阪)【出展】
2001 [field of field (ギャラリー-運、京都)],[Mio写真奨励賞2000]年度入賞者作品展(天王寺ミオ10階ライトガーデン、大阪)【出展】以降活動を休止する。2004年から活動再開
2004 「とよた美術展'04(豊田市美術館、愛知)【出展】個展(VOICE GALLERY, 京都)開催

異夏枝 | Hajji OH
1977 大阪生まれ、在日3世
2002 京都市立芸術大学染織専攻修士課程修了
2002-4 韓国(ソウル)に留学。韓服の縫製について学ぶ
帰国後、さまざまな国に住むコリアンディアスポラアートの展覧会をコーディネート、出品(2004、京都/2005、香港)
その他、個展、グループ展などで作品を発表。シンボリズムなどにも参加。おもに民俗衣装をモチーフにした作品を制作する

塚田守 | Mamoru Tsukada
1962 長野県生まれ、写真作家。(米留学を経て、2002よりアート・ステュディオ 岡崎 松二部芸術院論ゼミ参加)
2002 写真集「感性的表象を超えた彼方を望見せざるを得ない」出版
2003 小山登美夫ギャラリーにて個展。パーゼラルアートフェア、ロンドンアートフェア出展
2004 ニューヨークアーモリーショー出展
2005 川崎市民ミュージアム展覧会、アート・ステュディオ展覧会参加
カナダバンフアートレジデンス参加

RELATED EVENTS

アーティストトーク ①
2005/10/1(土) 14:00~16:00
東義孝、榎本耕一、異夏枝、越中正文
Artist talk 1
14:00~16:00 Saturday 1st October 2005
Yoshitaka Azuma, Koichi Enomoto, OH Haji, Masahito Koshinaka

アーティストトーク ②
2005/10/15(土) 14:00~16:00
塚田守、牧山花、増山麗奈、松原社志朗
Artist talk 2
14:00~16:00 Saturday 15th October 2005
Mamoru Tsukada, Hana Makiyama, Rena Masuyama, Soshiro Matsubara

産め!産め!キャンペーン
桃色ゲリラパフォーマンス(入場料 1000円)
2005/10/15(土) 17:00~
増山麗奈、白井愛子、多田恭子
OPERATION BABY! ~ PINK GUERRILLA PERFORMANCE (Fee:1000yen)
17:00~ Saturday 15th October 2005
Rena Masuyama, Aiko Shirai, Kyoko Tada

TOKYO WONDER SITE
〒113-0033 東京都文京区本郷2-4-16
2-4-16 Hongo Bunkyo-ku Tokyo, JAPAN 113-0033
TEL:03-5689-5331/FAX:03-5689-7501
E-mail:info@tokyo-ws.org
http://www.tokyo-ws.org

ACCESS

御茶ノ水駅、水道橋駅 (JR 有楽線)
水道橋駅 (都営地下鉄三田線)
御茶ノ水駅・本郷三丁目駅 (都営地下鉄丸の内線)
本郷三丁目駅 (都営地下鉄大江戸線)
各駅よりそれぞれ徒歩5分
※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

Tokyo Wonder Site is 7-minutes away from JR Suidobashi station, Ochanomizu station, and Hongo Sanchoime station(Marunouchi Line).
From JR Ochanomizu station: Cross the Ochanomisubashi(bridge)@ the first pedestrian crossing; turn left (west); walk on Sotobori-dori Street, go past Tokyo Medical College(Juntendo Hospital, and Juntendo University); turn right at the corner of Century Tower. The Site is located at the first intersection on the left.